

ニ接シ、南ハ多磨郡ニ包マレ、西ハ高麗郡ニテ、大抵入間川ヲ以界トセリ、南北ノ長五里、東西ノ幅三里半ナリ、二區ヲ合シ斜ニ延亘シタル長ハ、殆ド十里ニ及ブベシ、土性ハ大抵野土ニシテ、陸田多シ、水田ハ西北ノ方川ニ添テ平坦ノ地ニアリ、ズベテ此邊ノ地勢ヲ考フルニ、東ハ卑ク西ノ方ヘ漸クニ高クシテ、秩父郡ノ山足コノ郡中ニ始ルニ似タリ、中關郡ノ形狀、中間ニ川越城アリ、東ニ柳瀬川流レ、南ニ狭山ノ峯ツバキ、西ハモトヨリ秩父ノ方ヘ連レル山足ニテ、北ハ越邊入間荒川ノ三流延回シテ界ヲナス、サレド中間高麗郡ノ地押入タレバ、其詳ナルコトハ記シガタシ、猶圖ト照シ見ルベシ、然ルニ以上ノ經界ハ、後世大ニ變革セシト覺エテ、和名抄郷名ノ中、廣瀬ナドハ今其遺名アレド、本郡ニ入ズシテ高麗郡ニ屬ス、又郡中法恩寺年譜錄ニ載ル大豆土村、今比企郡ニ屬スルノ類ニテ知ベシ、人物風俗等ニ至リテハ、サセル殊異ナシトイヘドモ、西ノ方山ニ添ヒタル地ハ、尤鄙野ノ風アリ、

〔續日本紀稱德二十九〕神護景雲二年七月壬午、武藏國入間郡人物部直廣成等六人、賜姓入間宿禰、

〔續日本後紀淳和〕天長十年五月丁酉、於多磨入間郡界置悲田處、

〔伊勢物語上〕昔男むさしの國までまどひありきけり、扱其國にある女をよばひけり、ち、はこと人にあはせんといひけるを、母なんあで成人に心付たりける、父はなを人にて、母なん藤原なりける、扱なんあで成人にと思ひける、此むこがねによみてをこせたりける住所なん、いるまの郡みよしの、里なりける、

みよしの、たのむのかりもひたぶるに君が方にぞよるとなくなるむこがねかへし、わがかたによるとなくなるみよしの、たのむのかりをいつかわすれん

〔武藏濱路五〕入間郡

北條分限帳に、入間郡の内に入東郡と有、又横見郡内にも入東あり、高麗郡比企郡の内に入西